

特集 コロナ禍における 目白大学の現状と今後の展望



●2020年度卒業生の皆さん
同窓会へようこそ!

●目白大学同窓会
支部レポート

SNSでつながろう! 広げよう!
同窓生の輪

SNSでつながろう! 広げよう! 同窓生の輪

YouTubeで広げよう!

あなたの活動を宣伝します!

出演者
大募集!!

「同窓生応援動画」
絶賛配信中!

起業しているお店や会社の宣伝をしたい、作品を発表する場がほしい、サークルのメンバーを集めたいなど、あなたが同窓生の皆さんに広く伝えたいことを動画でPRしてみませんか? ご希望の方には、プロのスタッフが取材・撮影した後で5分程度の応援動画を制作し、YouTubeにアップします。また、同窓会報に掲載ご希望の方にはインタビューにも伺います。いずれも費用は一切かかりませんので、ぜひ宣伝の場としてご活用ください!

- ◆こんなお店や会社をやっています
- ◆自分の作品を見てほしい、聴いてほしい
- ◆趣味の仲間を募集中!
- ◆オンライン同窓会で集まろう! などなど

今後は日常の大学風景も
発信していきます

乞うご期待!

まずは気軽に
お問合せを!

目白大学同窓会 本部事務局
03-5996-6361 (月・水・金 10:00~17:00)
honbu@mejiro-dousou.org



第1回出演の同窓生はこちら!
ぜひご覧ください!

関東本格たこ焼き「タコレボ」代表
海老澤 恭央さん
人文学部 言語文化学科 (2001年卒)

「目白大学では桐葉祭の実行委員会をやっていました。また、趣味が剣道で、剣道部にも所属していました。「タコレボ」は主に茨城県古河市を中心として、埼玉県・栃木県を活動エリアに、たこ焼きの移動販売およびイベント出店をしています。外はカリッ、中はトロッの「カリトロ」の生地に真銷を使用し、6種類のこだわりの味をご用意しています。幸福の丸い食べ物、たこ焼きを食べて笑顔になってください!」



URL <https://www.youtube.com/watch?v=MafCnn2IPjI>

同窓会活動に興味のある方はコチラ

現在同窓会では広報活動やイベント運営を手伝ってくださる会員の方を募集しております。ご協力いただける方は応募フォームよりご連絡ください。

応募フォーム <https://www.mejiro.ac.jp/univ/dousoukai/forms/other/index.php>



ホームページや各SNSでは同窓会の活動だけではなく皆様に参加できるイベント紹介など目白大学に関する様々な情報をお伝えしています。ぜひチェックしてみてください。



ホームページ



Facebook



Instagram

URL
ホームページ ▶ <https://www.mejiro.ac.jp/univ/dousoukai/>
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/mejirodousou.org/>
Instagram ▶ <https://www.instagram.com/mejiro.dousoukai/>

住所変更のお願い

目白大学同窓会では皆さんの住所を大学から引き継ぎ管理しています。今後も大学や同窓会からの情報をお届けできるよう新しい連絡先を下記サイトよりお知らせください。

- STEP1 QRコードの読み込みを!!
- STEP2 専用フォームで必要事項を入力

読み込みない場合は、
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/dousoukai/forms/address/index.php>
へアクセスしてください。



コロナ禍における看護学教育への思い

目白大学名誉教授 関根 龍子



歳月の流れは速く、目白大学を退職して早6年になりましたが昨年9月に目白大学名誉教授の称号を戴きました。この授与は当時一緒に活動した教員や事務職の方々の支えがあつての授与と感謝しています。一方、COVID-19の感染が世界的に猛威を振るい、そのような中で、本学研究科修士が施設のトップとして感染管理対策に取り組み、マネジメントしている姿に看護職として使命感を感じ、看護学部設立当時を深く思い起こしました。

昨年はナインテール生誕200年(1820年～1910)に当たります。ナインテールは「看護とは、新鮮な空気、換気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさを適切に整え、これらを生活の中に取り入れて生命力の消耗を最小限に整える……こと」(『看護覚書』碓井坦子他訳、現代社)と生活環境の改善に努力し、統計的データを基に看護の原点である法則を導き出した医療衛生改革者であることは看護学を学んだ者は周知の事と思います。



また、大学における教育・研究棟の建築は大学設置基準や看護師学校養成所の指導要領に法的な拘束性を持つ意味の内容が定められていますが、本学看護学部設置準備時にはそれらを基準とし、さらに、前述したナインテールの看護の原点である考えを建築設計担当者、管理部そのほかの関係者に語り、個人々の教員室には手洗い場の設置、専門領域毎の実習室には学生が密にならないよう広さと多くの水道蛇口の確保、コンセントの増等、また、県内では2番目に設立した学部であったことから最新の教材・教具の整備等看護の魅力を打ち出すことに相当の時間を費やし理解して建設してもらいました。

今、世界ではCOVID-19に向けて3密行動の実行を国民に語り掛けています。ナインテールが訴えていた看護の原点は、時代や社会がどのように変わろうとも決して変わることの無い看護の基本的な考え方、物の見方、看護者としての信念を説いているものと考えます。

最後に看護師は命の現場で働いている重みを考え「倫理観」を大事にして自己の健康を維持しながら益々のご活躍を祈っています。

創立100周年記念8号館(百年館)運用開始



2023年に迎える目白学園創立100周年を記念して、新宿キャンパスに建設された8号館(百年館)が完成し、昨年より運用が開始されています。地下2階、地上5階建ての最新の設備は明るく開放的で、快適な学習環境が整い、徹底した省エネも図られています。また、1号館と10号館につながる連絡通路も設けられ、移動がより便利になりました。

コロナ禍の目白大学の学び

保健医療学部 作業療法学科 専任講師 野村 健太
保健医療学部作業療法学科 2009年卒業

2020年春学期、COVID-19の影響により、授業は全てオンラインになりました。新入生はキャンパスに足を踏み入れることなく、友人もできにくい環境のまま授業がスタートしました。臨床実習は中止になり、動画や紙面上の事例による学内実習を余儀なくされました。秋学期は対面で行えない授業のみ登校が許されました。国家試験対策も友人と一緒に勉強することが大きく制限され、勉強が捗らない学生も少なくありませんでした。教員も、オンラインによる授業の設計と教材作成、実習地の調整、体調不良者への対応等、日々格闘しています。悪いことばかりではなく、学生も教員もITスキ

ルがアップしています。また、2021年1月現在、理由はわかりませんが、目白大学全体での退学者は昨年より大きく減っているようです。まだまだ見通しはつきませんが、COVID-19に学生の学びを止めさせるわけにはいきません。「どうすれば可能か?」という発想で教員も学生も過ごしています。



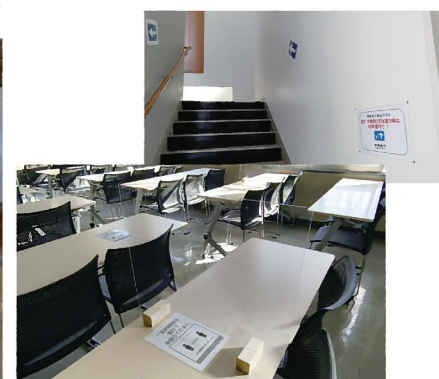
学生も教員も試行錯誤しながら前向きに

看護学部 看護学科 助教 平井 佳代
看護学部看護学科 2010年卒業

さいたま岩槻キャンパスには、ほとんど学生の姿はありません。学生は自宅から毎日パソコンで講義を受け、技術演習だけは3密を回避しながら学内で行っています。不便な状況でも看護職になるために必要な学びは変わりません。臨地実習のほとんどが、教員との通信による実習に変更せざるを得ませんでしたので、いかに学びを維持するか、学生も教員も初めてのことに互いに試行錯誤でした。コ

ロナ禍でおうち時間を充実させようという流れがありました。私たちに全く関係のない世界です。

臨地実習の少なから将来に不安を感じている学生も多いですが、コロナ禍だからこその得たものもあるようです。学生の柔軟で前向きな姿勢に励まされています。



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に関する

本学の対応

(2021年1月8日現在)

■新宿キャンパスの新型コロナウイルス感染対策

- ①検温所(サーモグラフィ)の設置
- ②学生課窓口の体温チェック
- ③学内で遠隔授業を受講できる教室を随時設置
- ④ソーシャルディスタンスの掲示
- ⑤全教室にアルコール消毒液設置

■さいたま岩槻キャンパス学生相談室(こころのケアについて遠隔相談)

- 2020年度夏期短期留学、秋学期の各種留学中止に引き続き、2021年度春学期の留学中止



■秋学期は原則として遠隔での授業を継続、遠隔での授業実施が困難な科目を「面接授業」で実施、「実技・実習科目」は対面での授業を再開

■(2021年1月8日 緊急事態宣言発出に伴う) 学生入構制限

- 学内で会話をしながらの飲食は厳禁
- クラブ活動は禁止
- 「新型コロナウイルス感染症学内対応マニュアル」に沿って行動
- 感染が判明、あるいは濃厚接触者として特定された場合には、直ちに新型コロナウイルス感染症報告専用フォームから各キャンパスの学生課に報告

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 修学支援金へのご寄付のお願い

目白大学・目白短期大学部では、新型コロナウイルスの影響により本学での学びの継続が困難になっている学生へ、以下のような支援策を講じてきました。

- 新型コロナ関連支援金 5万円の支給
- 遠隔授業の実施に伴う環境整備のための無利子貸し付け
- タブレット端末無償貸与
- 学納金の延期期日の延長、図書館図書室の郵送貸し出し など

これまでの支援をさらに充実し、継続するために「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う修学支援金」(寄付金)を募り、学校法人目白学園として今後対応していくための資金とすることといたしました。

募集要項

- 1.目的 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援のため
- 2.募集総額 5千万円
- 3.募集金額 1口1万円 本趣旨をご理解いただき、何卒、複数口のご協力をお願いいたします。
- 4.募集期間 2021年3月31日まで
- 5.申込方法
 - クレジットカード決済
ホームページの「クレジットカード決済 申込フォーム」からお申込みいただく、クレジットカード決済による寄付が行えます。
<https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/donation/covid-19/> へ入力された内容をもとに、本学から寄付金控除証明書などを送付いたします。
 - 銀行振込
下記口座へ直接お振り込みください。振込手数料を差し引いた金額をお振り込みいただく結構です。
 - りそな銀行 新都心営業部 口座番号:普通6072224
受取人:学校法人目白学園
 - 三菱UFJ銀行 東中野支店 口座番号:普通5649000
受取人:学校法人目白学園

お振り込みされた後に、ホームページの「銀行振込寄付 確認確認フォーム」から必要事項をご入力願います。
<https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/donation/covid-19/> へ入力された内容をもとに、本学から寄付金控除証明書などを送付いたします。

6.領収書 本学より領収書を郵送いたします。

税制上の優遇措置

■個人の場合

- (1)所得税に係る寄付金控除
寄付金控除の手続きは、寄付した翌年の確定申告期間に、本学園発行の「寄付金領収書」と「寄付金控除に係る証明書(写)」を所轄税務署に提出して確定申告を行うと、所得税の還付を受けることができます。確定申告の際に「税額控除」と「所得控除」のどちらかを選択して所得税の控除を受けてください。
- 税額控除 【寄付金額(所得の40%が限度) - 2,000円】 × 40% (控除率)
 - 所得控除 【寄付金額(所得の40%が限度) - 2,000円】を課税所得金額から控除
- (2)住民税に係る寄付金控除
加えて、お住まいの都道府県および区市町村において本学園を「寄付金税額控除対象法人」に指定している場合は、申告により寄付をされた翌年度の住民税から税額控除されます。詳しくは、お住まいの都道府県および区市町村 税務担当課にお問合せください。

■法人の場合

法人が学校法人に寄付した場合、法人税法に基づき、寄付金が当該事業年度の損金に算入されます。本学園の場合は、「特定公益増進法人に対する寄付金」として、一般寄付金の限度額とは別枠で損金算入限度額に相当する金額まで損金に算入することができます。特定寄付金の証明のためには本学園発行の「寄付金領収書」と「寄付金控除に係る証明書(写)」が必要となります。

お問合せ先

学校法人目白学園 法人本部 総務課 総務課
Mail: board@mejiro.ac.jp

コロナ禍における目白学園

目白学園理事長 尾崎 春樹



昨年は、目白学園もコロナウイルスに大きく影響された一年でした。大学・短大の卒業式・入学式の中止に始まって、キャンパスの入構制限、遠隔講義への移行など様々な対策を講じてきました。特に、家庭で遠隔講義の環境が整わない学生のためタブレット端末を無償貸与し、また、アルバイト収入の減少など家計急変によって学業の継続が困難になるのを可能な限り防ぐため、全国でもいち早く、休学生を除く全学生に一律5万円の「応急支援奨学金」の給付を決定しました。これに加えて、同窓会からも寄付を頂戴し、学生の教育支援に役立てることができました。感謝申し上げます。

現在は、実習など対面を必要とする授業を除き、遠隔講義の割合が引き続き高くなっており、この状況では、学校が分散登校などで、引き続き、学生の修学支援のため、寄付等可能な限り対面授業の努力をしても、学生と

わけ新入生は友人関係を築きにくく、満足なキャンパスライフを送りづらいのが実情です。おりしも、新年早々、流行の第三波を受けた緊急事態宣言によって大学の講義も大きく影響を受けており、苦しい状況は続いています。

しかし、ワクチンの普及や人々の自制によって、現在の流行は、近いうちに必ず鎮静化すると期待しています。「明けぬ夜はない」を信じて、新学期を明るく活力ある状態で迎えられるよう、引き続き精一杯の努力をまいりますので、引き続き、学生の修学支援のため、寄付等のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

2020年度を振り返って

目白大学学長 沢崎 達夫



同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援・ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また先般はコロナ禍の中、学生支援に向けてご寄付を賜り、誠にありがとうございました。

この2020年度はコロナ禍のため、大学の教育も大きな影響を受けました。昨年度末の学位授与式の中止に続いて、今年度春学期は、入学式の中止に始まり、各キャンパスへの入構禁止、5月の連休明けから全面オンラインによる遠隔授業の実施と、慌ただしく過ぎました。法人からの支援を受け、学生への修学支援金の給付やタブレット端末の貸与等も行われました。秋学期も遠隔授業は継続となり、実技・実習に関わる科目は一部対面授業を再開いたしました。また、桐祭、桐葉祭が中止になるなど、通常の大学の行事や授業は著しく制限されました。

このような状況の中で、先生方には、急遽、慣れない遠隔授業をお願いすることとなり、準備期間があまりとれませんでした。お互いにサポートし合いながら、無事に1年間の授業を終えることができました。

このコロナ禍はまだ当分の間続くと思われるので、遠隔授業の継続とともに、感染予防対策をとりながらの対面授業の実施も積極的に検討してまいります。同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜れば大変有り難く存じます。末筆ですが、同窓会ですますのこのご発展並びに皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

特集 コロナ禍における 目白大学の現状と今後の展望

昨年から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、私たちの生活は様変わりしていますが、母校は今どうなっているのでしょうか？
また、後輩学生たちの学業や生活等への影響はどうなのでしょうか？大学の現状や今後の展望、今の思いなどを先生方に寄稿していただきました。

同窓会より 目白大学へ 新型コロナウイルス 支援金を贈呈しました

「新型コロナウイルスに伴う学生・生徒の教育支援金」として、皆様からお預かりしております同窓会費より大学へ100万円を寄付いたしました。これは例年とは異なる制約の多い中で勉学に励む学生や生徒を支援しようと「目白大学同窓会」「目白大学短期大学部校友会」「目白研心中学校・高等学校同窓会」が、一丸となり、各同窓会が「大学」「短期大学部」「中学校・高等学校」に100万円ずつ寄付を行ったものです。支援金の贈呈式は2020年7月8日に新宿キャンパスにて行われ、学園より同窓会に感謝状が贈られました。



目白大学同窓会 支部レポート



つまのかい 観の会 看護学部支部

今年度、観の会では感染拡大の対策による様々な行事の中止に伴い、大学に関わる活動は実施できていませんでした。しかし、それぞれ現場で働く卒業生の現状を聞く機会があったため、ありのままお伝えしたいと思います。

知的障がい者施設(デザイナーズ)勤務の卒業生 A 保健師 (2014 年卒)

知的障がい者施設の利用者の中にはマスク着用を嫌がる方がいて機嫌を損ねてしまったり、正しくつけられないことがあってその度に職員が直したり、健康のための散歩や休憩を感染予防の観点で屋外にしなればならず、気温に左右される時期は増段以上に気をつくことが増えました。また、職員10名のうち有償職員は1人のみで、感染防止に対する認識がない人への危機管理の統一が課題でした。
コロナ対策薬物のある病院で働く卒業生 B 看護師 (2014 年卒)

他病棟でコロナの患者を受け入れているため、その病棟に予定入院する患者を代わりに受け入れたら、擬似入院で陰性になった方を夕方に入棟で受け入れたりと1日中、対応に追われています。また、コロナ対応の病床数を増やすために看護師を配置するために一般病棟を閉鎖し、そこにいる看護師はいろんな病棟に分散して配置となってしまいました。

訪問看護ステーションでも働く卒業生 C 看護師 (2014 年卒)

元々少ない職員の中でコロナの濃厚接触者になってしまった方がいて、少ない人数でなんとか訪問しています。病棟の病床数確保のために退院調整で新規の利用者さんも増え、入院できない中で自宅や療養している方の夜間の呼び出しも増えています。

ICU で働く卒業生 D 看護師 (2014 年卒)

病院に、コロナ専用病棟、コロナ専用 ICU が設立されましたが、一般病棟にコロナ患者が出てしまい、その病棟に勤めていた看護師さんが2週間自宅待機となりました。また、その病棟の患者を他の病棟に移動させるわけにもいかず、病棟1つを閉鎖し、看護師は分散して働いています。

以上、かなり厳しい現状の中、今回は困っているエピソードをまとめてみました。先が見えない混乱の中でもお互い励まし合い、皆プライドを持って働いています。先が見えない現状や差別の声が世間では聞こえます。なんで私たちがばかりと思うこともあっても知れませんが、様々な方が治療法を模索していく中で解決できない病は今までほとんどなかったと思います。いつかこんな病気が流行って大変だったなと笑顔でみんなで会える日は絶対に来ると信じています。その日を楽しみに、今できる一つ一つの課題をクリアし、元氣な姿で皆さんと会える日を楽しんでいます。
支部長 毛谷村 美子 (2014 年卒)

めいけん 作業療法学科支部

TOPIC 新任教員の紹介



清田 直樹 助教
今年度10月より作業療法学科に着任しました。以前は、茨城県立医療大学で教員として勤務しておりました。新たな環境で慣れないことも多いですが、研究・教育に励んでいきたいです。専門は、身体障害者作業療法で、作業科学という新たな研究領域にも挑戦していきたいと思っています。半年間、アメリカのボランティアに留学しており、国際的な知見の探究や開拓などが様々な挑戦をしております。趣味は、サーフィンで、世界中の各地の波に乗るのが夢です。



廣瀬 里穂 助教
今年度より目白大学で教員となりました廣瀬里穂です。作業療法士としては6年目になります。私は目白大学作業療法学科2015年卒、また目白大学大学院リハビリテーション学研究所5期生の卒業になります。専門は身体障害者領域で、急性期の病棟に勤めていました。主な研究テーマは急性期の脳血管障害患者への作業療法、高次脳機能障害患者の作業を用いた評価、新人教育などです。趣味は旅行で、美味しいお酒とご飯を探しています。半半年間、アメリカのボランティアに毎年行っていました。また旅行の日を楽しみに、日々教育と臨床と研究に取り組んでおります。

めいけん 作業療法 検索 めいけんのホームページにて研修会情報や、お問い合わせ、参加お申込みができます。

http://mejken.jimdo.com/

めいけん Facebook は作業療法学科に関するだけでなく、入部情報や研修内容、被災地支援など様々な情報をご紹介し「秘密のグループ」なので承認されたメンバーのみ閲覧できます。

めいけん(目白大学作業療法研究会)

お問合せ ☒ mejken.ot@gmail.com

定年退職される先生方

- 張 元宗 社会情報学部 教授
- 平林 隆一 経営学科 教授
- 山本 礼二 児童教育学科 教授
- 木元 正和 ビジネス社会学科 教授
- 藤森 憲司 ビジネス社会学科 教授

人間福祉学科 同窓会 人間福祉学科支部

●支部設立の挨拶

昨年、同窓会支部設立の承認をいただきました人間福祉学科同窓会です。人間福祉学科は2004年に誕生してから1000名以上におよぶ数多くの卒業生を輩出して参りました。現在では、多くの卒業生が福祉関連領域に限らず、社会の中核を担う人材として、活動をおこなっています。しかし、これまで、大学を卒業した後の卒業生同士のネットワークは限定的でした。今回設立された同窓会では、卒業生同士はもちろん、在学生や教職員の先生方と人間福祉学科で築いた絆を大切にしながら、卒業後の一つの「居場所」として活動することのできればと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

●新型コロナウイルスについて

現在も猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、在学生の皆様方には慣れないオンライン授業に四苦八苦しっているのではないのでしょうか。また、施設見学やボランティア活動等の機会も減少していることは、学生の皆様方にとっては、非常に残念なことだと思います。しかし、視点を変えれば、これまでの「当たり前」を送ることができない「経験」をしていくということとなり、ソーシャルワークを担う専門職として、より一層、社会参加が困難な方の気持ちに寄り添うことのできるのではないかと考えます。

◆支部設立についてのお問合せは事務局まで
目白大学同窓会 本部事務局 03-5996-6361(月・水・金 10:00~17:00)

名誉教授 (2020年7月15日 大学運営審議会の承認を経て称号号)

- 原 裕視 人間学部心理カウンセリング学科 特命学部長補佐、教務部長*
- 千葉 茂明 人間学部人間福祉学科 学部長、学務部長(入試担当)
- 船越 知行 人間学部人間福祉学科 学長補佐、副学長
- 新井 正一 社会学部社会情報学部 理事、評議員、学部長、特命学部長補佐、学部長補佐、学務部長(教務担当)、教務部長*
- 寺崎 克志 経営学部経営学科 研究科長
- 上田 昇 看護学部看護学科 図書部長
- アーネスト・マービン・スミス 看護学部看護学科
- 関根 龍子 看護学部看護学科 評議員、特命学部長補佐、学部長、学料長、メディカルスタッフ研修センター長、
- 斎藤 佐利 保健医療学部言語聴覚学科 学部長、研究科長、学料長

*兼任の学務部長(教務担当)に相当

Welcome to Alumni Association!

2020年度 卒業生の皆さん 同窓会へようこそ!

- ①目白大学の思い出
- ②先生方や友人に伝えたいこと
- ③目白大学での4年間
- ④目白大学の魅力
- ⑤卒業後の抱負

柳沼 莉奈さん 心理学部 心理カウンセリング学科

①メジスタに入り、目白大学への進学を考えている高校生、そしてその保護者の方々から、たくさんの感謝の言葉を頂いたり、実際に目白大学に進学し、メジスタに入ってくれた学生がおりに一緒に活動できたことです。②ゼミの担当の杉本先生にはとてもお世話になりました。入試広報部の方々にとても感謝しています。メジスタを運営できたのも、オープンキャンパスを開催できたのも、すべて入試広報部の方のおかげです。大学の友人、メジスタの仲間が私の大学生活を彩ってくれました。③自分が大きく成長した4年間だったと思います。相手の手前を率先して行動したり、その気持ちや考えが必ず仲間を集めたり、発言したり、ただ入学に通うだけでは学ばなかったことだと思います。メジスタに入れたから、心理カウンセリング学科に進えたら学ぶべきことだったと思います。④先生と距離が近いからこそ相談できることがあった、授業について質問しやすかったり、大学生活を充実させるためにとても大切なことだったと思えます。また、少人数制の授業があることで、学生間の交流も深まったと思います。また、大学の周りが昔ながらの授業や習習と楽しく過ごせました。⑤私は4月から児童福祉士として働きます。学生さんともいつかつづつつながりていけるようにしたいと思っています。そしていつか、関わった人の人生に明るい大きな存在になりたいなと思っています。*メジスタ 目白大学入試広報卒業生スタッフ

同窓会長の山西です ようこそ同窓会へ
コロナ禍に見舞われ、大学生活にも多くの影響があったかと思いますが、大学を卒業すると、時間の流れが急激に速く感じられるようになります 仕事も最初は慣れない失敗もするでしょう
それは、みんな同じです 私も同じ道を歩んで来ました 贖いたら、共に学園生活を過ごした仲間と会ってみたいです
または、同窓会の先輩に話を聞いてもらって下さい
みんなあなたの仲間です

目白大学同窓会会長 山西 茂

新井 寿野さん 保健医療学部 言語聴覚学科

①桐楽寮 私は学友会和音楽部、吹奏楽部と多くのリーグに所属していたが、桐楽寮は特に楽しく思い出の日でした。②言語聴覚学科は難関な内容の授業が多かったり、正確さや検定が厳しかったり、それとも異議を唱えられたら、約20人という人数の中で、正確さや楽しさを共有しながら、音で鍛えてきたからだと思います。③何も出来ないと思ってた頃の自分から、「募集された職を目指している」と周りに声をかけられるまで成長できた4年間だったと思います。④地域の方々と交流ができるボランティア活動が数多くあったと思います。⑤私は卒業後、回復期〜生活圏を中心とした病棟で働かせていただきます。患者様一人一人の生き方に寄り添い、「あんなによかった」と思っていた方がいいような言語聴覚士を目指していきます。そのために、患者様の話を傾聴する姿勢を忘れず、患者様と向き合う時間を大切にしていきたいことが抱負です。

吉田 沙希さん 保健医療学部 理学療法学科

①クラスメイトと夜遅くまで実習をこなしたことです。評価やOSCEなどの実習試験に向けて実習経験を振り返ることは行ったものとなっては思っています。②担任の川川先生には大変お世話になりました。社会人・医療人になるための指導も教えていただきました。楽しいときだけでなく、試験があるときに周りにクラスメイトがいてくれた助けてくれたり、励ましてくれたらと思います。それが何より大きな存在になってくれました。③理学療法士になるための土台を作った期間だと思います。④先生の丁寧な指導と授業です。⑤理学療法士として総合病院で働きます。一人でも多くの患者様にありとあらゆる診療をいたげたいように、一人一人の患者様としっかりと向き合いハッピーな日々を送って行きたいです。*OSCE 運動機能検定試験

櫻井 知恵さん 保健医療学部 作業療法学科

①1年生から4年生にかけて経験した見学・評価、総合臨床実習です。臨床実習のなかで、作業療法の知識や技術を身につけてながら、作業療法の魅力に気づくことができた。また、身につけた作業療法の知識や技術を患者様に提供し、喜んでくださった時に作業療法という仕事のやりがいを感じることができた。更に、臨床実習の中で、将来自分自身で作業療法を実践する患者様の為に知識を蓄えたい、といった意識をもたれることができた。②作業療法学科の先生方には、作業療法に関する知識や社会人としてのマナーを教っていただき、成長することができた。また、ゼミ担任の先生には丁寧なサポートをしていただいたので、国家試験合格という意識をしたかった。友人や仲間が居たからこそ4年間の経験ができた。③「ありがとうございました」と伝えたいです。④落ち着いた雰囲気と充実した施設環境の中で学習することができたこと、また、臨床実習前に実施するOSCEという試験を通して、実際の臨床現場でも戸惑うことがないように知識や価値を確認することができた。更に、各先生方が持つ作業療法の魅力について教えたこと、また、作業療法士像を明確にすることができたこと。⑤卒業後は、実際の臨床現場で経験を積みながら、作業療法に関する知識や技術を深めていき、患者様のニーズに応じた作業療法を柔軟に提供していきたいと思っています。また、大学院を目指して勉強に励みたいとも思っています。

Y.Sさん 人間学部 児童教育学科

①第50回桐楽寮の閉会後に、参加してくれた方や出席してくれた方が「楽しかったな」と言えながら片付けをした。帰ってきたこと。第50回桐楽寮実行委員会委員長として一で卒業に導き、様々な方のおかげで無事閉会できると仕事を実感したから。②児童教育学科には、教員としての責任能力を高めるために多様な視座の中で様々な経験をさせていただきました。先生方のご尽力でこのような経験をさせていただいたことに感謝を伝えています。4年間の大学生活は友達に助けられてなんとかここまで送ってきたことのできただけだったと思います。③様々なことにチャレンジする楽しさと、自分の可能性に気づくことができた4年間でした。④学生団体は各イベントなどで他の学生を巻き込んで学校を盛り上げていく実感があって、その活動をサポートして下さる学校側の体制が充実していた、やりがいがあったこと、この4年間ですることができた。卒業後は教員として、この4年間で学んできた様々な経験を授業に還元していきたいです。

頼賀 彩さん 人間学部 子ども学科

①(まみゆめ(子ども学科特別行事)) 他学部の学生と協力しながら、子どもたちに導いて実習を提供することができた。②授業だけでなくプライベートのことまで相談に乗ってくれたところがとても良かったです。③授業で担任として関わらせてもらったことは助けてくれたことに感謝。一層一層導かれていてありがたう。④資格取得に向けて勉強の期間があり、社会に向けたときの成長期間であったと思います。⑤多くの方と出会って、先生との距離が近いところ。⑥玩具や遊びを通して多くの子どもに笑顔を提供していきたいです。

植原 美音さん 看護学部 看護学科

①3年生の時の半年間の臨床実習。実際に患者さんへの看護を行い、病気の仕組みや体の仕組みなども、心理的側面にも深く関わって接することができ、それが自己の成長につながったと思うからです。また、半年間の実習を見聞できたことは、一種に切磋琢磨できたグループのみんながいたからだと思います。②大学生活で関わってきたすべての先生に感謝を伝えたいです。辛い時は声をかけてお互いに助け合ったり、楽しいことや嬉しいことがあったら、みんな自分のことのように喜び合える素敵な友達がいてくれたおかげで充実した大学生活を送ることができました。③毎日はとても充実している友人と学生生活を過ごすことができたと思います。先生と先生との距離が近いことだと思います。先生の研究室に聞きに行くことができた。勉強以外のことも、気軽に相談できるところが魅力の一つだと思います。④私は、卒業後病棟に勤務します。患者さんの日々の変化や体調に合わせた看護管理援助を行いたく、急性期病棟での勤務を希望しています。厳しい中でも患者さんの気持ちや尊厳しながら個別性を尊重した看護を実践していけるよう努力していきたいです。